
公衆衛生看護実習 I

岩村 龍子 教授
岡本 光代 准教授
辻本 宏美 助教

3 年次後期・保健師コース必修

2 単位・90 時間

【概要・目的】

公衆衛生看護活動の実際から、個人・家族・集団・組織における健康課題を解決するための支援についての方法と考え方、および保健師の役割について学び、公衆衛生看護活動を展開できる基礎的な実践能力を養う。

【到達目標】

- 1) 個人・家族・集団・組織のヘルスニーズに応じて様々な技術や活動を組み合わせて展開する公衆衛生看護活動を捉える。
 - 2) 住民が主体的・組織的に健康課題を解決するための公衆衛生看護活動の方法を概説する。
 - 3) 公衆衛生看護活動の実際から、その意義と行政における保健師の役割と機能について考察する。
 - 4) 関係者・機関、住民との連携・協働の必要性と方法およびその中での保健師の役割を説明する。
 - 5) 地域住民の健康・生活の実態や社会資源など、地域診断に必要な情報を収集しアセスメントすることで、地域のヘルスニーズを検討する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 実習期間：2 週間
 - 2) 実習場所：保健所および市町村
 - 3) 実習方法：保健所および市町村における保健事業や会議等への参加、家庭訪問、地区踏査、施設見学など
-

【評価】

実習目標に対する到達状況（60%）、実習への参加状況（20%）、実習記録（20%）により評価する。

【教科書】

宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学総論第 3 版」日本看護協会出版会
宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学各論 1 第 3 版」日本看護協会出版会
宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学各論 2 第 3 版」日本看護協会出版会

【推薦参考図書】

村嶋幸代編集「公衆衛生看護支援技術」メヂカルフレンド社
佐伯和子編著「地域看護アセスメントガイド第 2 版」医歯薬出版株式会社

【その他】

- ・詳細については実習前オリエンテーションで説明する。
- ・実習地までの通学定期を購入する場合は、実習開始の 40 日前までに事務室へ申し出ること。
- ・関連科目の学習資料をまとめ、復習しておくこと。